

刊夕日四廿月八



定価一冊五円  
発行所 東京市丸の内區  
印刷所 東京市丸の内區  
電話 丸の内五丁目  
電話 丸の内五丁目

### 子供と讀書 (3)

黒瀬 艶子

これに關聯して幼児にはあんまり澤山の種類の繪本を一度に與へない方がよいのである。これも與へてそのために折角の子供の同じ繪本の同じ頁からうけた

いと思ふ印象、想像の力を妨げない方がよろしいと思ひます。「同じところばかりよんでくれ」といふのは本を一通りしか買つてやらな

いたためだ、これでは可愛想だ。などと成人らしく判断しない方がよろしい、あき

るの成人のことで、子供は一冊の繪本によつて充分に満足もし想像の世界はわ

づかの刺戟によつて限りなく發展し得るものだといふことを知つてゐたいと思ひ

ます。それ故、どれか一冊きめたらそれを毎月とつて子供の欲するまゝにくりか

へし／＼よんでいかせませ

そして次の號がきたらまへの號の繪はきりぬいて遊ぶやうにしたらよく、或はそ

れ迄にやぶれてしまつたらそれでもよろしい。一層次の一冊をまつやうになり

ます。一度に何種類も與へると見るとかよむとかいふことよりも、譯もなくやぶ

つてしまつて繪本を見る落つきもなくなつてしまひま

す。成人は一度見ればすぐ

【朝】味噌汁―若芽 小井 煮豆

【晝】皿―トマト 胡瓜 小井―牛肉大和煮

【晚】皿―鮑鹽むし 小井―くず煮(春雨 豚肉筍 しひたけ さやいんげん)

暗記してしまふ位、繪雑誌はつまらないものですが、子供はその一冊の繪本がわ

かるよりもそこから来る刺戟によつて生きる相像の世

界の多様であることを忘れぬやうにくりかへして申上

ておきます。 少年少女時代とその後 自分でよめるやうになり

伯林の秋晴れに映ゆ日章旗 (我選手優勝) 感激の涙に碎く秋の月(ベルリン放送夜中) 咲き誇る大和撫子外づ國に (前畑 嬢)

### オリンピック

あまり豊かに與へすぎで讀書の興味を薄くするよりも少くあたへて精讀の習慣をつける方が大切かと思ひます。極端な例になりますが一中學生が家が充分にとにかす折角入學しても必要な教科書もやつとのことで揃へた有様で英語の辭書がかへませんでしたがその子が不思議にも成績がよく、取りわけ語學の方にも秀才で中學を卒へるころには英獨、露と全くそれも獨學で一通りの會話も出來、ことに英文邦譯は得意でした。

### 夏は！

#### キヤンプとハイキング

#### メイコーカメラ

いつもお供は 海も良し!!! 山も良し!!! これさへあればいつも朗か楽しい旅行このカメラならどんな素人でもキレイな寫眞が直ぐ撮れます。

トウコーカメラ 特約店 M.S.カメラ

いづみや玩具店 カメラ部

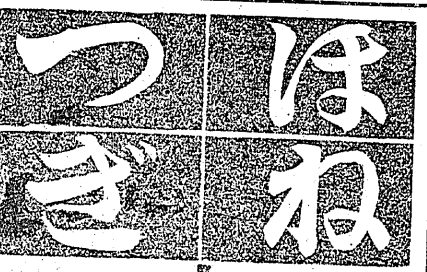
電燈、動力、新設増設及改修  
ネオンサイン設計及取付  
甲種、乙種、電話設備  
工業特設電話設備  
呼鈴及室内電話設備

日東商會  
平二。電話四二八番

### 軍服紳士服調製

永年東京陸軍砲工學校の御用を承り居りましたが今回當地出身將校各位の御聲援を賜はり左記へ轉居開業軍服調製に専念致し居りますから何なりと御用命の程御願申上げます。 尙原品は凡て階行社取扱にて軍裝品一般についても御便宜取計ひます。 平町田五十七番地

菊地洋服店  
電話(呼)二八番  
店主 菊地 一郎



大河内接骨院  
平町才植小路  
電五八八

醸造石數四千石

昭和二年以來連續優等入賞



御披露中特價一、四〇

永山酒店  
電話二〇七番

# 押しかけた七夕祭観光客 平町人波で埋まる

## 平驛創始以来の超新記録

### 軌道車三臺連結の離業で間に合せる

七夕祭の平町は夫々趣向を凝らして飾り付けられ本場の仙臺市を凌ぐ絢爛華麗な五彩の綾を織りなして夜はネオンの明滅に更に一層の美観を呈して人氣を沸騰。毎日數萬の見物人が雪崩こんで本町通りは文字通りの人波で埋まり平署員、消防組員の聲をからしめての交通整理を聴かばこそ幼児や老人は踏み倒される程の猛烈にも華やか賑ひを現出、夜に入つては益々人出を増して全町全くの人、人、人のお祭氣分にひたつてゐるが平驛に見る人出丈で郡山、水戸方面からも來平、初日の二十二日には乗降客九千五百人、更に廿三日に至つては俄然急ピツチで一萬七千人と激増、平驛創始以来の記録一萬二千人を遙かに突破した超新記録を樹立山崎平驛長始め全従業員も汗だく／＼のうちに豫想外の大當りにほくそ笑み車輪を増車して居り本二十四日は掉尾の人出を豫想されてゐるがなんせ汽車に運ばれて雪崩こむ人出は夕方最も多く昨二十三日の最高は下り七時三十七分着の八百九十五人、六時十二分

八百三十八人で乗客は矢張り夜の賑を満喫後の九時前後であり他に自動車或は徒歩で押しかけた附近町村からの人を合すれば裕に四五萬人の大混雑振りを呈したことになる譯である

尙平驛は豫想外の人出で車輪増結を行つたがそれでも乗りきれず今度は東鐵管内空前のガンリッカード三臺連結のはなれ業までやつて間に合せた

## 人絹景氣到來の豫想人氣に沸く

### 昭和和絹工場飛躍に備へ

#### 新に男女工五百名募集

錦村昭和和絹會社工場は既報の如く竣功を急いでいた火災後の擴張工事が近く完成するのとき事業發展を計畫して畫策中だつた人絹聯合會に加盟かこの程漸く決定したため愈々飛躍的一萬千八百錠生産を計畫、九月中旬から全能力を擧げて日産十七トンを生産することになり

現在大体二千五百名で紡糸器卅臺(設備六十四臺の約半數)運轉七トン生産中  
を新らたに男工を主とする五百名の第二期大量募集を爲すことになつたため早くも同工場を中心とする附近町村は活氣を呈して來て人絹景氣到來を待期してゐる

## 統火管制協議

### 平署では二十五日午前十時から

來月十一、二兩日行はれる防空演習の統火管制に關し管内の炭礦その他大量に電氣を使用する處の主任を集め協議した

## 山田更生祈願

### 山田村は今二十四日午前八時から

追經濟部長を招き更正祈願祭を執行了

## 市内校籠球部練習試合

郡下大會の前に連日猛練習を行つてゐる平第一及び同第三の尋常科兒童籠球練習試合は今二十四日午前十時か

ら第一コートで行つたが兩校のメンバーは左の如くである

- (第一) 關原 橋本
- 大谷 小野寺
- 長谷川 鈴木
- 渡邊 佐藤

## 好水溫に恵まれ

### 四種目に新記録

#### 意氣揚る三大炭礦競泳

第四回常磐炭礦水上選手権大會は大日本礦山協會仙臺地方常務委員會主催で昨廿三日午後零時三十分より磐城炭礦金坂プールに開かれた、参加炭礦磐城、入山、古河の三大炭礦で水溫廿四度の好温に何れも張切つた元氣に飛沫をあげ四種目に大會新記録を出し午後四時半閉會した、優勝者左の如し

- ◇百米自由型1庄司猛夫(磐城)大會新記録一分六秒六
- ◇管野茂(入山)3長津高男(入山)◇四百米自申型1澁谷春雄(古河)五分四二秒六
- ◇金成一郎(入山)3庄司駒夫(磐城)
- ◇百米背泳1佐藤利次(磐城)大會新記録一分二秒一
- ◇菅野茂(入山)3大森(磐城)◇二百米平泳1猪狩金三郎(入山)三分二秒二
- ◇矢内春次(磐城)3高木隈夫(磐城)◇二百米繼泳1磐城チーム二分〇秒五
- ◇入山チーム◇千五百米1澁谷春雄(古河)

## 磐中籠球練習

磐中籠球部は水高主催の關東北中等學校大會が九月中旬開催される事になつたので制覇を見せし早くも今二十四日から練習を開始した

## 平町人事

- △南町四六佐々木與三郎氏 二男靖治さん
- △白銀町一海野義雄氏四男泰義さん
- △回 婚 姻
- △上遠野村大字根岸宇小齋三五高崎和平氏(三〇)仲間町八一阿部初子さん(一五)

## 藤田 坂本

第三校同窓會は昨日午後一時から母校講堂に恩師を囲み開催餘興に懷舊談に一日を楽しく過したが出席者約二百名あり頗る盛會であつた

## 回 死 亡

- △南町六四松本万吉(二九)
- △田町五五齋藤角治(四九)
- △職を求るめ方
- △寫真見習 仕着小造
- △店員 十八才 高卒
- △日立機械工 十八才 高卒
- △日立職工 十八才 高卒
- △機械見習工 二十才 高卒
- △難夫 二十才迄 給八圓
- △トラツク助手 廿才前後 給面談 尋卒 以上

**旅大三館**  
前驛野上京東  
角通横局便郵谷下  
番七七六四谷下話電

私は平町出生ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります  
主人 **比佐棟雄**

## 是非!

御融通には御用命下さい  
萬事便利な御相談に應じます

公債、債券 質物一般 **三井質店**  
平・四 電六〇六番

呼吸患救済の王  
陸海軍御用  
帝國大學醫學部御用  
官公立醫學專門學校御用  
**吸入用酸素**

體溫計(メイトル)  
御用命次第迅速に御届け致します

平町古銀治町一〇縣社ノ下  
處方箋調劑所 **阿康藥局**  
電話 四四番  
振替口座東京三〇〇番

# 洋服を貸賣しると

## 全裸の男が飛び込む

夢想した防空演習から洋服店へ

二十二日夜八時半頃雪崩こ  
んだ七夕祭の人出で雑沓中  
平町二丁目中野洋品店方へ  
労働者風三十五、六才の全  
裸の男が飛び込み生命保  
険金二十圓を受取ることに  
なつてゐるから洋服を一時  
貸賣して呉れと駄々をこね  
始末に負へず平署から渡邊  
部長が出張、取押へんとし  
た處矢庭に抵抗したので大  
格闘の末本署に引致したが  
右は好間村大字上好間字館  
元坑夫佐藤寅之丞(三)と云  
ふ精神病の歩兵上等兵殿で  
同夕刻夜間防空演習が

## 平町七夕祭の捕物異聞

ある如く夢想 出動  
せねばならぬと軍服を着用  
して平町に來る途中折柄祭  
りの人波に揉まれて軍服を  
紛失、裸では  
軍規を素す、と思案  
の揚句前記の始末と判明、  
保護を加へて家人に引渡し  
たが同人は二十一日午後一  
時頃豊間村海岸松林中に洋  
服を脱ぎ捨て側に「警察の  
取調べが餘りに苛酷だから  
自殺する」と遺書を殘して  
置いた人騒がせな狂人と判  
り署員も苦笑させられてゐ  
る

## 地元不良と共謀

### 料理店主が暴行

目撃者間に非難たかまる

減多に通れぬ南町魔窟街

二十三日夜九時頃平町の七  
夕祭見物に來平した錦村字  
大倉根本正之助方小林忠二  
(三)は友人と二人で雑沓す  
る人波に揉まれて同町南町  
地内を通行中同所料理店第  
一新橋こと佐々木熊吉方酌  
婦に無理に二階に引上げら  
れ金は無いと空の財布を見  
せた處憤慨した同家主人は  
附近を徘徊中の地元不良達

## 簡閱點呼美談

平町  
田町縣信用組合聯合會平出

## 故郷の母は出奔

### 少年浮草の旅

姉を尋ねて遙々平町へ

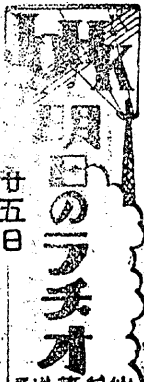
昨二十三日午後六時頃七夕  
祭の賑ひを他所に平町新川  
端に行倒れてゐる年の頃十  
五、六才位の少年があるの  
を附近の人々が尋ねると右  
は山形縣東置賜郡山上村生  
れ渡邊宮雄(三)君で八才の  
時父親久二さんに死に別れ  
十五の歳から米澤市に職工  
となつて働いてゐたが昨年  
春から坐骨神經を患ひ止む  
なく家に歸つたところ母親

## 左官職の内職に

### 銅板専門に盗む

神社の屋根もはがす

好間村字關の上左官職松崎  
義太郎(三)は二十二日平町  
板三百匁を窃取、發覺平



廿五日

## 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間  
「神樂ばやし」間宮光朝社  
中  
後六、二五 趣味講座(廣  
島)史蹟巡り「日鮮交通上  
に於ける上關と熊毛浦」  
山口高等學校教授 小川  
五郎  
後七、三〇 講演「日本刀  
の世界に冠絶する所以」  
九州帝大教授 工學博  
士 土谷村照

今晩は北の風  
明日は北東の風  
曇

## 報日組豫告

前六、三〇 速成獨語講座  
登張信一郎  
前七、〇〇 朝の修養「寒  
山詩提唱」終山崎大耕  
前七、四一 中等學校復習  
の時間「國史」大島延次郎  
前八、一〇 小學生おさら  
ひの時間「算術」香掛斧次  
郎  
前八、四〇 川柳講座「夏  
と川柳」野呂月華子  
前九、〇〇 母の時間  
「新學期の爲に訓育」櫻井  
賢三  
後九、〇〇 五モダン小咄  
古川利隆  
後九、三〇 「朝顔の歌」佐  
澤昇進録

## 紙芝居で宣傳

### 防空思想普及

平町各區で實演

平町では九月の防空演習普  
及のため本廿四日午後一時  
半から左記時間割で町内各  
所に紙芝居を實演した  
午後一時半(第三校庭)△  
二時四十五分(四軒町自  
動車學校跡)△四時(商業  
學校)△五時十分(訓盲  
院)△七時十分(五町目團體  
事務所東側)△八時十分  
(平驛前)△九時二十分(平  
屋町元警察署廣場)

## 惡口に憤慨

### 三名で暴行

湯本町字三箇長尾清(三)同  
使用人稲田稔(三)同町東町  
小野榮二郎(三)の三名は二  
十一日午後二時半頃同町  
温泉開整事務所を訪れ居合  
せた同町々議院議員、同  
文一郎の兩名を散々殴打、  
平署に檢舉されたが原因は  
長尾發刊の旬刊新聞常陽公  
論を前記兩名が難癖つけた  
のに憤慨したものと

## 疾走中のバス

### 幼童を刎飛す

木町佐藤陽孝二男弘(三)同  
町長橋町田菊吉(三)の兩  
名は二十三日午後五時頃七  
夕祭の飾りを見物に出かけ

## 賭博に罰金處分

賭場去る十八日午後九時頃  
江名町字南町料理店白土チ  
ヨ方で賭博開帳中警官に踏  
込まれ一網打盡に檢舉され  
た江名町八四料理店白土チ  
ヨ同町折戸三六吉田光茂  
(四)同町南町八一鐵工場職  
工畔田榮次郎(三)同町米屋  
戸田ヨシ(三)同町北町四三下  
駄職鈴木三平(三)の五名は  
過般清田檢事から賭博罪と  
して起訴されたが今二十四  
日平區からチヨ、光茂、榮次  
郎、ヨシの四名は罪金三十  
圓三平は二十圓にいつれも  
略式命令を以て處分された



### 瓦解の謎

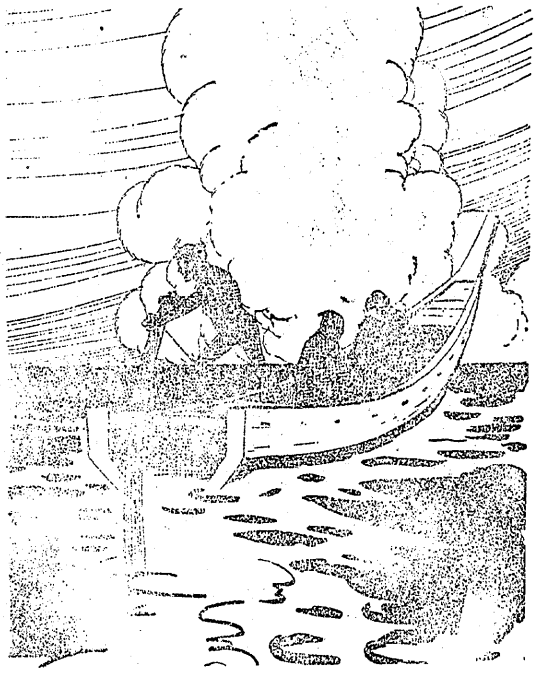
悟道軒圓玉(作)  
尾至陽(書)

二〇五 開陽丸へお客

官軍の兵士は伊兵衛の住居をしらべたが不審と認められるものはない、それでは彰義隊は居らぬかといつたがこれは見當らぬも當然、案内をしてゐるは伊兵衛に彰義隊の土井伊織、この時伊織は女になつてゐた、官軍の兵士は鐵砲をかついで空しく三輪の屯所に引きあげた、あとに伊兵衛は番頭の善助を呼びよせ

伊「貴様は悪い奴だ、あの馬鹿者の與四郎を煽動して土井様がこゝにゐることを官軍の屯所に密告させたな……」  
と急所をさへられて善助は吃驚した  
伊「知らぬとはいはせぬぞ貴様はな、十一の時から奉公に来て忠實に働くから、年が明けると間もなく支配人にまで取り立てた、こゝ二三年のうちに相當な資本を興へて、立派な商人にしてやらうと思つてゐた、その俺の真情が貴様には知れないのか、恩を仇で返へすとはこの事、さアたつた今出て行け、貴様のやうなおそろしい奴をこゝにおくことは出来ぬぞ、出て行け」

善助は何の答へもなくさし俯白き嘆息するのみ、伊兵衛はそれへ金を持つて来て伊「罪は憎むべし人は敬す



と俺を罪に陥して、與四郎をこゝの婿にしてそれから此身代を横領して俄に大金持や大商人にならうとしてこんなことを企らんだが、それを出世をする近道と思つたであらう道の近きをむさばると岩につまづきまたは木の根に足を取られ谷川にすべり落ちて怪我をする事もある、道は遠くとも本街道を一足づゝ進めば目ざす土地にやす／＼と行くことも出来る、人の一生は重荷を背負ふて遠き道を行くがごとしと家康公の仰せに

べしといふことがある、俺は君子といふ程の徳はないが、貴様か子供のうちから俺につとめてくれたことを思ふとあはれにもなる、こゝに百兩ある、これを資本として身をおこせ、古い文句をならべるやうだが、人は正直でなければ世に立つことは出来ぬぞ、貴様は與四郎に密告させて土井様

もある、いふことは古びてゐるがこれは名言だよくこのことを心にきざみ付けておけ、さア出て行け」  
善「飛んだ心得ちがひを致しました、左様ならば旦那様、この金子はお貰ひ申しておきます」  
といひつゝ涙をぬぐつたそれを見た伊兵衛  
伊「貴様の眼が赤があるや

うでは眞人間になれるであらう、人らしくなつたらば尋ねて来い、それまでは會はぬぞ」  
さすがに腕一本で大商人になるほどの伊兵衛として、善助の奸策を看破して意見をした上金を與へていともを出した土井伊織のお花は伊兵衛の寛嚴よろしきを得た取扱ひに感心した。

とこゝで伊兵衛は三輪の屯所に使を出して與四郎を引取り、番屋にとらへられてゐる良澤をと助け出したこの事はこれで済んだが伊織とお花の身の處置を付かねばならぬ、それは榎本釜次郎今は和泉守といひ海軍副總裁、この榎本君に頼んで奥州におとすことにした。

さてその當時品川沖に碇泊して居つた幕府の軍艦は開陽、回天、蟠龍、神速、千代田、長鯨の六艦、その他威臨三保の運送船、これは帆船船です、上野の落武者は上州、野州から仙臺へ走るものもあり、またこの軍艦へ投じたものもある、榎本君はこれらの艦を率ゐて蝦夷地に行く目的、今の北海道、こゝに乗り込んでゐるものは何れも血の氣の多い壯士ばかり、すると八月の十日のことでしたが、鐵砲洲の木村屋といふ船宿

より解が一艘出て開陽丸の船に來たが  
○「お客様でございます」  
と船頭聲をかけた、番兵はこれ聞いて  
兵「その客とは何者か」といひつゝ解に目を走らした

店主	が	店員
を	連	れて
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	

平・田町  
レストサロン  
電三五二番

### 御日焼けの

御顔の御手當に就て  
海水浴の御日焼け、残暑の御日焼け等は、御顔の「美」を一層傷つけるもので御座いますから、其の際は必ずお手當が必要で御座います。私共の化粧院は御日焼けには獨特のオゾン理容法によるお手當を致しまして皆様が御満足のいく限りの御化粧に努めてをります。  
海水浴の御日焼け、或は残暑の御日焼けの御手當には是非水野化粧院迄御立寄下さいませ。  
昭和十一年八月

### 工場員募集

平工場作業員 二名  
三十歳前後  
川崎工場見習 三名  
十六、七歳前後(賄付外手當支給)  
希望者は至急來談あれ

提燈 スカヤ  
石綿ムシカマド製作所  
平材木町(電話一三七番)

## 鯉節

御進物に

貝焼 鯉鹽から

魚問屋 榮盛賀志  
番三一二話電 目丁四平

### 佛壇位牌佛具一式 是非! 近江屋

二丁目  
電話七一一番